



皆様には日頃からご指導ご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。

当協会は、本年度も事業計画に基づき、成長ホルモン治療関係、研究助成事業およびヨウ素関連調査研究事業等を着実にやっていく所存であります。本年度も格別のご指導ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

評議員 選任について

3月15日に開催されました第13回評議員会において、評議員の選任を行いました。退任・新任役員は次のとおり。(敬称略)

《評議員》(現在数 16 名)

退任 松村好章

新任 加賀 洋

FGHR (Forum on Growth Hormone Research)

臨床研究助成金交付者決定

公募したところ(2月1日締切)全国より9件の応募がありFGHR臨床研究委員会では審査の結果、次の5名に交付が決定。

鹿島田健一 東京医科歯科大学

発生発達病態学小児科

佐藤武志 慶應義塾大学医学部小児科

高谷里依子 千葉大学大学院医学研究院

小児病態学

武田 良淳 東京都立小児総合医療センター

臨床遺伝科

福田 高士 福岡大学医学部

内分泌・糖尿病内科

平成 28 年度研究助成金・指定課題研究

自由課題研究募集について

●指定課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

成長科学に関する研究であって次の研究分野のいずれかに該当するもの。

(a) 成長ホルモン療法の治療効果に及ぼす諸因子の解析並びにアドバース・イベントの調査に関する研究

(b) 成人成長ホルモン分泌不全症患者の診断、治療及び追跡調査に関する研究

(c) 成長ホルモン及び IGF-I 測定に関する研究

(d) ヨウ素摂取と甲状腺機能、成長発達との関連に関する研究

(e) 低身長児(者)の生活の質に関する研究

2. 助成金額：予算の上限は1年1課題につき

(a) 300万円 (b) 150万円 (c) 50万円

(d) 70万円 (e) 80万円

3. 助成期間：原則として1期(2年)

4. 応募方法：必ず3施設以上による共同研究チームを組み、当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄(郵送必着)に提出して下さい。

●成育治療研究指定課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

胎児より新生児・乳児・幼児・学童期・思春期を経て生殖年齢までのヒトのライフサイクルの成育に影響を及ぼす薬物に関する研究及びこの期間の障害の治療に関する研究であって次の研究課題に該当するもの。

2. 研究課題

『ヨウ素過剰が妊婦および新生児の甲状腺機能に影響する個体差』の研究

3. 助成金額：40万円(1年)

4. 助成期間：1年

5. 応募方法：

(1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄(郵送必着)に提出して下さい。

(2) 1つの研究グループからの応募は1題に絞って下さい。

(3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

●自由課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

成長科学に関する研究であって次の研究分野のいずれかに該当するもの。

(1) 身体の成長・発達に関する基礎的・臨床的研究

(2) 成長ホルモン又は成長ホルモンの関連因子に関する基礎的・臨床的研究

(3) 心の発達に関する研究

2. 研究課題：上記の研究分野に関し、応募の研究者が提案する課題

3. 助成金額：1件につき50万円

4. 応募方法：

(1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄(郵送必着)に提出して下さい。

(2) 1施設からの応募は1題に絞って下さい。

(3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

★ 上記研究助成金は、応募者が所属する研究施設等の間接経費・一般管理費等は助成の対象になりません。

★ 上記募集の選考結果は、9月上旬に応募者に通知します。なお、申請用紙は、当協会ホームページよりダウンロードできます。

寄附ご芳名

ニュース 102 号以後、次の方々からご寄附がありました。

貴重なご寄附、誠に有難うございました。

株式会社 資 源 殿

日 宝 化 学 株 殿

関 東 天 然 瓦 斯 開 発 株 殿

武 田 薬 品 工 業 株 殿

J C R フ ァ ー マ 株 殿

(順不同)

第29回公開シンポジウム開催

『思春期の不思議～人生の大切な時期の意義を知る～』をテーマに、下記のとおり開催予定。

〈日時〉平成 28 年 6 月 18 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

〈場所〉UDX シアター/秋葉原 UDX4 階 (JR 秋葉原駅電気街口徒歩 2 分)

〈演者〉長谷川真理子 (国立大学法人総合研究大学院大学 理事・副学長、先導科学研究科 教授)

“思春期はその後の人生の指針を作る”

〈演者〉宮本信也(国立大学法人筑波大学 副学長・理事、附属教育局教育長)

“思春期の心の問題”

〈演者〉尾崎孝宏(国立大学法人鹿児島大学 法文教育学域(比較文明論) 教授)

“モンゴルの思春期 - 牧畜社会における子どもと大人の間”

〈指定討論〉児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部 教授)

参加ご希望の方は、件名「第 29 回シンポジウム参加申込み」とし、お名前、人数、連絡先を明記し、FAX またはメールにてお申し込み下さい。(入場無料 問合せ TEL : 03-5805-5370)

FAX : 03-5805-5371

メールアドレス : kimoto@fgs.or.jp